

メディア関係者各位

2020年5月1日

新型コロナウイルス感染拡大による影響が続く中、妊娠不安の相談が急増中！

全国の連休中の緊急避妊受診先・オンライン診療先リストを作成・公開！

新型コロナウイルス感染拡大状況下、NPO 法人ピルコン（東京都）へ、10代から寄せられる妊娠不安の相談が急増しています。特に2020年3月は無料メール相談が月115件（同年2月は64件）、妊娠不安の相談ができるLINEチャットボット「ピルコンにんしんカモ相談」への相談メッセージ件数は月7000件（同年2月は約4900件）を越え、4月も同様に高い水準で推移しています。メール相談において特に妊娠不安に関する相談が多く寄せられ、コロナ禍の中、医療機関の受診をためらう声も散見されます。緊急避妊薬は性行為から早く服用するほど効果が高く、72時間以内の服用が効果的です。その一方で、医療機関の休診のため、避妊の失敗やレイプ被害などで必要な状況になっても連休中に緊急避妊薬へアクセスができない事態が起こり、今後の10代の思いがけない妊娠につながることを危惧しています。

ピルコンでは、全国の連休中における緊急避妊の相談が可能な医療機関、及びオンライン・遠隔診療に初診から対応している婦人科のリストを厚生労働省や各医療機関のウェブサイト进行调查し、作成。ピルコン公式ウェブサイト内のコンテンツにアップする他、SNSなどで周知をします。

▼掲載ページ：ピルコン アフターピル・緊急避妊（約18万PV/年）

<https://pilcon.org/help-line/afterpill>



また、本調査を通し、緊急避妊へのアクセスの課題が再認識されました。費用面について夜間・休日診療等の加算も大きく、2019年3月に後発のジェネリック薬が発売されたものの自由診療のため未だに1回あたり1.5万円を越える高額な費用がかかることが多いこと、また、緊急避妊においても休日・夜間診療の選択肢があることや、緊急事態宣言を受け条件が緩和されたオンライン診療についても十分な情報の周知がされていないことを非常に問題に感じます。ピルコンでは、緊急避妊薬の薬局販売に向けて、今後も署名キャンペーンを中心とするプロジェクトを推進していきます。

アフターピルを必要とするすべての女性に届けたい！署名キャンペーン中！



2020年5月現在、約4万4千名の署名が集まっています。

▼アフターピルを必要とするすべての女性に

<https://www.change.org/afterpill>

【法人概要】

- 名称 NPO 法人ピルコン
- 設立 2013 年 10 月
- 代表 染矢明日香
- 事業内容
 - ・ 正しい性の知識に関する普及啓発事業
 - ・ 女性のライフプランニングとキャリア実現に関する支援事業
 - ・ 性教育教材や性の健康を増進する用品の企画、製造、および販売
 - ・ その他目的を達成するために必要な事業
- 活動領域 東京・関東圏を中心とする日本全国
- HP: <http://pilcon.org/>

【取材お問い合わせ先】

NPO 法人ピルコン 担当：染矢明日香 TEL：090-5179-3449

E-mail : pilcon.info@gmail.com